

●毎回ここを書くたびに忸怩たる思いをしているのですが……書いてるとそれどころじゃなくなってしまうのです。誠に申し訳ありません。

そればかりなのも能が無いので、最近 [次世代デジタルライブラリー](#) なるものを知りましたという話を。国立国会図書館デジタルライブラリー公開資料を全文検索できるようにしようという試みで、試しに煉瓦工場名で検索したら案外使い物になっているようです。 [津守煉瓦](#) とか [和泉煉瓦\(初代\)](#) とかの広告を発見し、これらの社章をゲットしたりしています(しかもこの資料、以前に目を通してははずなんですよ。。デジタル資料は目的のものを探し出しやすいかわり、それ以外に目を通す機会が減って、今回みたいな体たらくを演じやすいようです)。ちょうど今日から [個人向けデジタル化資料送信サービス](#) も始まり、以前は図書館送信でしか見られなかった資料が家に居ながら見られるようにもなります。妙にこの方面がアツくなっていると、今更気づいてワクワクしている今日このごろです。さっさと登録しようっと。(な)

●今号「旧橋紀行」の中で触れていた、傾いた煉瓦橋脚を改修する方法がとても興味深かった。まず、修復可能であること自体に驚かされた。

この3月に発生した震度6強の地震により東北新幹線が被災し、福島県では高架の橋脚が激しく損傷して鉄筋が剥き出しになり、一部は沈下した。再開までどれ程かかるだろうかと心配していたのだが、なんと、1ヶ月程で修復を完了させてしまった。凄いね。この件も「工事誌」的な資料が作製され、100年後の人を驚かせるのだろうか。(つ)